

令和3年度北海道釧路湖陵高等学校 全日制課程 学校評価(自己評価)集計

今年度の目標		評価項目	4	3	2	1	無回答	回答数	▲要改善 △不十分 ○おおむね十分 ◎十分	【中央値】 上位・下位
学習指導	【学習指導】 ○学習評価について研修を深め、改善を図る。	1 観点別学習評価への移行スケジュールの決定	6	28	18	1	0	53	△△△ ○○○○○◎	15
	○学習習慣の育成について研修を深め、主体的な学習を促す。	2 生徒の学習状況調査の定期的な実施と、主体的な学習の状況把握	8	36	9	0	0	53	△ ○○○○ ○○○◎	35
	○研修を深め、授業改善を図る。	3 教科内の指導方針一致と、授業内容の共有	8	35	10	0	0	53	△△ ○○○○ ○○○◎	33
	○総合的な探究の時間の取組を推進する。	4 授業評価を活用した授業改善	9	30	14	0	0	53	△△ ○○○○ ○○○◎	25
		5 探究活動を指導するための体制整備	3	27	20	3	0	53	△△△△ ○○○○○	7
	【理数教育】 ○SSH事業Ⅱ期計画を円滑に行う。	6 探究活動を進める流れの確認・見直しを行う。	3	33	16	1	0	53	△△△ ○○ ○○○○○	19
	○外部との連携を円滑に行う。	7 協力機関と連携する体制を構築し直す。	3	42	7	1	0	53	△ ○○○○ ○○○○○	37
	○他のSSH校と連携して事業評価の研究に着手する。	8 自治体と連携した提言活動を拡充する。	5	34	13	1	0	53	△△ ○○ ○○○○◎	25
		9 事業評価やコンピテンシー測定の実成を試みる。	4	36	12	1	0	53	△△ ○○ ○○○○○	27
生徒指導	○いじめを防止し、望ましい人間関係を形成する力を伸ばす。	10 学校行事等を通じた協働する力の向上	18	33	2	0	0	53	○○○○○ ○ ○○◎◎	49
	○社会的資質や行動力を高められるよう指導、援助する。	11 生徒会活動等への生徒の関与を高める取組	14	36	3	0	0	53	○○○○○ ○ ○○◎◎	47
	○多くの教員による取組で、生徒理解を図る。	12 「学校いじめ防止基本方針」の生徒・保護者への周知と、いじめに対する組織的な対応の徹底	10	38	5	0	0	53	△ ○○○○ ○○○◎◎	43
	○基本的な生活習慣を確立できるよう指導する。	13 学校生活の変化を観察し、生徒の状態を把握する。	10	40	2	1	0	53	○○○○○ ○ ○○○◎◎	47
進路指導	○指導方針を提示するとともに改善を図る。	14 キャリア学習を新たに教育課程に位置づける。	5	32	16	0	0	53	△△△ ○○ ○○○○◎	21
	○学習状況を測定・分析し、課題の改善に生かす。	15 学年・教科間の情報共有を活発化させる。	6	34	13	0	0	53	△△ ○○○ ○○○◎	27
	○説明会等の実施形態について工夫する。	16 学習状況調査と模擬試験等の分析を実施する。	17	27	8	1	0	53	△ ○○○○ ○○◎◎◎	35
	○教職員のオンラインによる情報収集を図る。	17 ICT機器等を活用する。	9	35	9	0	0	53	△ ○○○○ ○○○○◎	35
		18 入試動向等の情報を収集、発信する。	22	27	4	0	0	53	○○○○○ ○ ○○◎◎	45
健康・安全指導	○感染症対策に努めるとともに、生徒の健康管理意識を高める。	19 機会あるごとに啓発を行う。	20	33	0	0	0	53	○○○○○ ○ ○○◎◎◎	53
	○生徒が不適応を起こす前の予兆を把握し、情報共有に努める。	20 サポート委員会や分掌、学年間の情報を共有する。	16	36	1	0	0	53	○○○○○ ○ ○○◎◎◎	51
	○全体で見守る支援や、相談体制を継続する。	21 支援が必要な生徒の支援計画を作成し共有する。	18	23	12	0	0	53	△△ ○○ ○○◎◎	29
	○生徒の自己肯定感を高める取組を推進する。	22 スクールカウンセラーとの連携を通じた、個々の生徒へ適切な対応を行う。	25	27	1	0	0	53	○○○○○ ◎ ○○◎◎◎	51
	○防災や危機に対する意識の向上を図る。	23 避難訓練や講話、環境美化の取組を充実させる。	12	34	7	0	0	53	△ ○○○○ ○○◎◎	39
信頼される学校づくり	○保護者・地域・中学校へ、教育の成果を積極的に情報提供する。	24 生徒、保護者、地域への教育内容等の周知	9	32	12	0	0	53	△△ ○○ ○○○○◎	29
	○学校評価を活用した学校改善を定着させる。	25 中学生とその保護者に対する情報提供の充実	10	39	4	0	0	53	○○○○○ ○ ○○◎◎◎	45
		26 報道機関等を活用した学校の教育活動の周知	5	35	13	0	0	53	△△ ○○○ ○○○○◎	27
		27 学習評価、授業評価、教職員の自己評価、学校関係者評価等を活用した学校課題の明確化と改善策の共通理解	10	27	16	0	0	53	△△△ ○○ ○○○○◎	21
組織運営	○分掌が主導する体制を推進する。	28 分掌による事前調整・企画と学年への説明	6	42	5	0	0	53	△ ○○○○ ○○○◎	43
	○分掌・学年の目標を具体的にし、評価の観点を明らかにする。	29 方針、計画、評価、改善の一体化	5	34	13	1	0	53	△△ ○○○ ○○○◎	25
	○校内業務の事前調整を徹底する。	30 計画の際の関係部署との調整の徹底	6	41	6	0	0	53	△ ○○○○ ○○○○◎	41
	○校務を効率化し、働きやすい勤務環境にする。	31 部長主任会議を活用した校務運営の効率化	8	31	13	1	0	53	△△ ○○○ ○○○○◎	25
		32 超過勤務時間や、部活動指導時間の上限の遵守	5	18	23	7	0	53	▲△△△ ○○○◎	-7
教職員の資質向上	○校内研修を計画的に実施する。	33 課題に即した研修テーマの決定	8	37	8	0	0	53	△ ○○○○ ○○○◎	37
	○教職員個々の目標管理を推進する。	34 ライフステージに応じた自己研修の奨励	7	26	18	2	0	53	△△△ ○ ○○○○◎	13
	○服務規律を厳守する意識を維持する。	35 個別面談を通じた、目標管理の充実	9	30	12	2	0	53	△△ ○○○ ○○○○◎	25
		36 日常の情報提供による意識の高揚	11	31	10	1	0	53	△△ ○○○ ○○○◎◎	31

【資料の見方】 ◎ (4:十分)、○ (3:おおむね十分)、△ (2:不十分)、▲ (1:要改善) の意見の分布を図式化したものです。

【太縦線】は、集団の意見(評価)のおおむね中央を表しています。

【縦の実線】よりも太縦線が、右にあれば取組の成果が現れているという評価、左にあれば改善が必要な課題という評価になります。

【縦の実線】

【太縦線】
集団の意見(評価)のおおむね中央